

白色彗星帝国 超巨大戦艦 (宇宙戦艦ヤマト)

バンダイ ノンスケールプラスチックキット
製作・文 政府開発援助

1.超巨大戦艦について

白色彗星帝国超巨大戦艦は要塞都市(都市帝国)の崩壊後に内部から出現した設定全長12.2kmの大型艦で、大帝ゾーダー自らが指揮する。艦底部に1門の巨大な砲(月をも破壊する威力がある)、艦全体に無数の砲塔を備えており攻撃力は想像を絶すると思われるが、その詳細は謎に包まれている。

2.キットについて

ヤマトメカコレクション全30種の最初期(昭和54年1月)にキット化されたもので、プロポーションは良好で水準以上の出来といえます。メカコレクションはいわゆる「箱スケール」なので設定サイズの小さいアイテムは大味で間延びしてしまうのですが、その点シリーズ最大の設定全長を誇るこの艦は有利といえるでしょう。若干厚みが気になる箇所もありますが、全体的に程良い省略がなされた好キットだと思います。

3.製作と塗装について

プロポーションは変更せず、主として省略された部分を追加工したりディテールを揃えたりしています(明らかにオーバースケールのアンテナ類や凸モールドは削り落としてしまい、寂しい箇所にはプラ板やジャンクパーツと手持ちのエッチングパーツを貼り付けてみました)。最も大変だったのが艦首のライトか砲か良くわからない丸い部分で、一旦削り落としてハイパーハンマーのトゲで作り直したものを複製してコトブキヤのモールドパーツを組み合わせています。艦底部よりせり出してくる巨砲はWAVEの燃料タンクを組み合わせて自作し、砲が収まっていた艦体の側はプラ板とエポキシパテでそれらしく塞ぎました。なお、右舷のエンジンノズルを貫通する形で飾り台に差し込む為の真鍮管を内蔵してあります。

塗装は金属部分にメタルプライマーを塗布してから全体にガンダムカラーのファントムグレーの缶スプレーを吹き、いつものガンダムウェザリングマーカーで凹モールドにスミ入れしました。また、瓦礫の中から出現したことを踏まえて艦体上部のエッジを中心に軽くドライブラシを施してみました。艦首のライト?はリベットパーツに白・蛍光オレンジ・クリア・オレンジの順に塗り重ねたものです。最後にクレオスのツヤ消しクリアを吹いてツヤを整えています。



前面

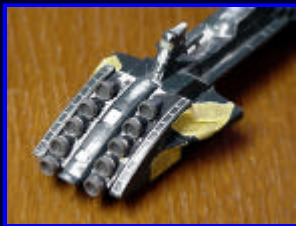


後面

4. 製作過程



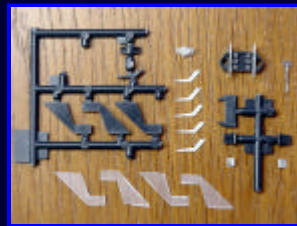
艦首部品は自作したものを透明シリコンで型取り複製。



市販オプションパーツと艦船用エッチングでディテールアップ。



艦底部巨砲は展開（発射）状態とし、砲収納部をそれぞれ小さく造型。



キットパーツが厚く太い為、プラ板や流用パーツで作り直した。